

有機農業

農業・化学肥
料の不使用・
使用低減

温室効果ガス
の削減・吸収

スマート農業
省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の
供給拡大

その他

御殿場市みどりの農業推進協議会（静岡県御殿場市）



太陽光発電で自動で移動するスマート農機（自動抑草ロボット）

【取組の背景】水田内の雑草対策では、化学農薬（除草剤）の使用による環境への負荷と、除草機等を使用した作業が大きな負担となっている。

【取組内容】・スクリューで泥を巻き上げ、遮光効果で雑草の生長を抑制させるスマート農機（自動抑草ロボット）を導入し、除草剤や除草作業の削減を検証。
・また、ロボットが安定して作動できる水深を保つため、水位センサーと給水ゲートも導入し、遠隔による水管理の省力化をあわせて実証。
（取組事業：グリーンな栽培体系への転換サポート）

【取組主体】 御殿場市みどりの農業推進協議会（構成員：農業者、御殿場市、県東部農林事務所、JAふじ伊豆）



実証中の水田

■ 取組のきっかけ

2021年に策定された「みどりの食料システム戦略」が示す持続的な農業生産への転換を図るため、関係者による「御殿場市みどりの農業推進協議会」を立ち上げ、先進的なモデル事業の実施により、化学農薬（除草剤）の使用量の低減、作業の省力化を図り、持続的な農業生産活動に取り組むこととなった。

■ 取組のメリット

環境負荷要因となる化学農薬（除草剤）の使用量の低減による地域特産米「ごてんばこしひかり」の更なるブランド力の向上、除草作業の負担軽減と、水位センサー、給水ゲートの活用で遠隔操作による水管理の省力化が期待される。

■ 今後の意向

自動抑草ロボットの費用対効果の検証と、稲の生育状況や収量等について慣行水田との比較を行い、安定した栽培管理の確立を目指したい。



水位センサー（手前）と給水ゲート（奥）

事務所所在地：（事務局）静岡県御殿場市産業スポーツ部農政課

電話番号：0550-82-4661